

高年齢労働者に配慮した 職場改善に取り組もう！

平成25年の花巻労働基準監督署管内の労働災害発生状況を年代別にみますと、50代で28%、60代で18%、70代以上で2%、50代以上を合計すると48%となっています。

一方、就労構成の割合をみてみますと、50代が24%、60代が8%で、50代以上を合計すると33%であり、就労構成の割合より労働災害発生割合が上回っている結果となっています。このことは、**50代と60代のいわゆる体力的に衰え始めた年代で労働災害の発生する割合が高くなっている**ことを示しており、労働災害防止に向け、高年齢労働者に配慮した職場改善に取り組むことが重要です。

このようなことから、高年齢労働者に対し、特に次の事項について取り組みましょう！

職務配置に当たって判断や記憶の能力に関する配慮

(例) 作業内容を明確にし、具体的に指示する。

協働者との関係についての配慮

(例) 若年労働者と協調できる作業にするために、作業における役割分担を明確に指示する。

安全性の確保・心理的ストレスへの配慮

(例) 高年齢労働者の守れる、ゆとりある作業標準を設定する。

作業の継続時間への配慮

(例) 注意集中を必要とする作業は短時間とする。

作業時間短縮と作業時間帯への配慮

(例) 勤務形態、勤務時間に選択の幅を持たせる。

作業スピード、ペース等への配慮

(例) とっさの反応を必要とする作業をなくす。

筋力の低下、不良姿勢への配慮

(例) 強い筋力を要する作業を少なくする。

関節の可動性、組織柔軟性への配慮

(例) 上腕を肩より高く上げる作業等をなくす。

生理機能低下への配慮

(例) 曲げ、伸ばし、ひねりが極力少ない作業となるように工夫する。

事故の防止や、負担を低減するための作業環境の整備への配慮

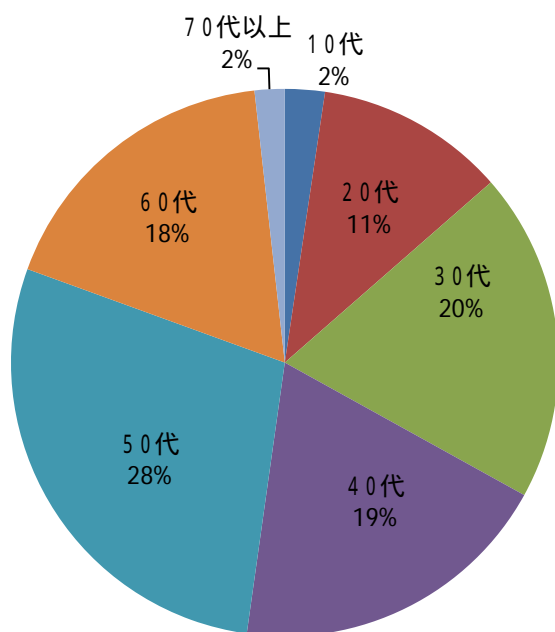
安全面 視覚機能面 聴覚機能面 温熱環境面
(例) 階段には手すりを設ける。文字サイズを大きくする。警告音は設備などの背景騒音を考慮する。寒冷環境下の作業では、より保温性が高い防寒服(具)を着用する。

健康管理

(例) 高血圧症罹患、肝機能異常といった診断を受けた高年齢労働者には特に配慮する。

年代別労働災害発生状況(平成25年)

(花巻労働基準監督署管内)



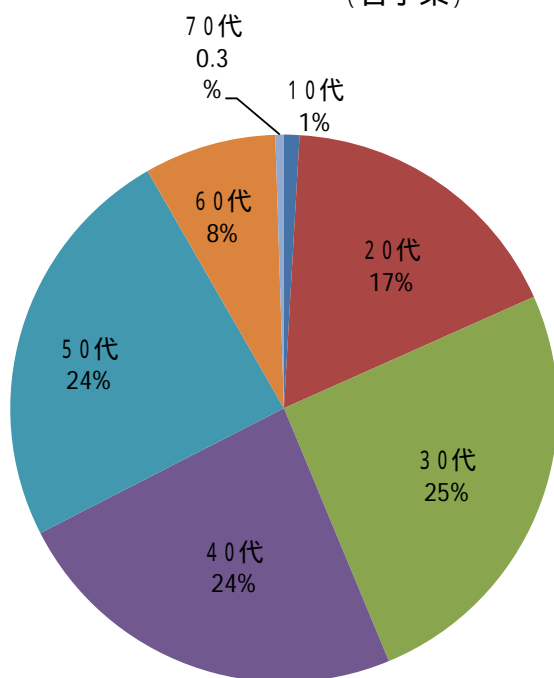
| | |
|-------|-----|
| 10代 | 8人 |
| 20代 | 38人 |
| 30代 | 66人 |
| 40代 | 65人 |
| 50代 | 96人 |
| 60代 | 60人 |
| 70代以上 | 6人 |

50代以上のいわゆる高年齢労働者が48%を占めている。

花巻監督署管内の労働者死傷病報告による休業4日以上ものを集計したもの。

年代別就労構成割合(平成24年)

(岩手県)



| | |
|-------|---------|
| 10代 | 2,130人 |
| 20代 | 40,130人 |
| 30代 | 58,590人 |
| 40代 | 54,750人 |
| 50代 | 55,880人 |
| 60代 | 18,020人 |
| 70代以上 | 1,210人 |

50代以上のいわゆる高年齢労働者の占める割合は約33%である。

平成24年賃金構造基本統計調査報告による。